

## 9 何を歌っているの？

### 何を歌っているの？ フラメンコの歌詞

フラメンコの歌は一体何を歌っているのだろうと疑問に思ったことはありませんか？ スペイン語だからわからないというのもあるでしょう。でもスペイン語がわかる人でも注意深く聞かないと聞き取れないこともままあるようです。音を伸ばす、独特の歌い方やアンダルシア弁、カローと呼ばれるスペインのヒターノたちの言葉が入ったりするせいもあるのでしょう。

### アンダルシア弁と カロー(ヒターノ語)

フラメンコはアンダルシア生まれということもあって、通常アンダルシア弁で歌われます。標準スペイン語と違う主な特徴には、語尾のsやz、子音にはさまれたsや母音にはさまれたdを発音しないなどがあります。例えばCádiz カデイスをカイ、madre マドレ母をマーレと発音するのがそうですね。また語尾のrやlを発音しない(querer ケレルをケレー)、sとzの発音が同じ、言葉の中ほどにあるlをrで発音

するというのなどもあります。また縮小辞、語尾に-ito/itaなどを多用するのも特徴の一つでしょう。

ヒターノたちの言葉はスペインではあまり日常的には使われていませんが、単語はヒターノ語でもスペイン語の文法を使って話します。たとえばcamelar カメラールはスペイン語のquerer 欲しい、愛しているという意味ですが、この言葉は聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。それがスペイン語同様に活用されて、yo camelo, tú camelas, él camela というようになります。他にもスペイン語と同じ言葉が違う意味になる言葉などもあります。例えばbataはスペイン語ではガウンの意味、カローでは母の意味になります。Por allí viene mi bata と歌うソレアの歌詞がありますが、ここでいうbataは母の意味。昔、それを知らずに私はガウン？ ガウンを着た人？とっていたものです。正解は「あちらから私の母が来る」でした。

### 歌詞は決まっている？

フラメンコの歌は、私たちが慣れ親しんだ、同じメロディで1番、2番と違う詞を歌っていく歌とは違います。3行や4行の短い詞からなる独立した歌を組み合わせて構成していくのです。

短い詞とは言っても数行を繰り返し歌うなどしているのですその短さを感じることはあまりないかもしれません。

またフラメンコにはソレア、アレグリア、タンゴなど沢山の曲種がありますが、その曲では必ずこの歌詞を歌うというものもありません。曲種ごとに基本の詩の形があり、伝統的な歌詞はありますが、どの歌詞をどのメロディで、どの順番で、どれくらいの数を歌うかは基本自由なのです。舞踊の劇場作品などの場合、歌詞とメロディ、その順番まできっちり決めることもあります。タブラオなどでは事前の練習なしで踊り手と歌手は歌の数など、構成の確認だけで本番に臨むことも多いようです。

### 人生のエッセンス

さてその内容ですが、これまた様々です。人生、生活、生きていく上で起こる様々なことから。そしてそれに伴う感情が歌われています。恋愛のときめきや嫉妬、家族愛、死の悲しみ、貧しさゆえの苦しみ。社会的な、プロテストソングもあれば意味のない言葉遊びのようなものもあります。また、お国自慢のように単に風物を歌ったものもあります。

En Calle Nueva hay un almacén  
 Que venden canastos, manteca y café  
 ヌエバ通りには店があって  
 かご、ラード、コーヒーを売っている

などというように、だから何なの？  
 って突っ込みたくなるようなものもあります。ちなみに私が一番好きなのは以下の詞です。

Fui piedra y perdí mi centro  
 Y me arrojaron al mar  
 Y al cabo de mucho tiempo  
 Mi centro vine a encontrar  
 私は石で、中心を失くし



トリアーナの市場の隣にはソレア・デ・トリアーナの記念碑があり、たくさんのソレアの詞が書かれています。





歌い手のインテンションを正面から受け止めて表現するのはフラメンコ舞踊の醍醐味の一つ。ここでダビ・ラゴス渾身のカンテに向き合っているのはロシオ・モリーナです。

海に捨てられた  
長い時を経て  
私の中心が会いにやってきた

発想がすごくて、なんだかぞくっとしませんか。短い詞の中に宇宙があるというか、これは日本の短歌や俳句、川柳、また都々逸などにも通じる世界だと思います。

### 作者たち／詠み人知らずから文学作品まで

伝統的な詠み人知らずのものから、ガルシア・ロルカ(アントニオ・ガデス舞踊団の『カルメン』で歌われたルンバ『ベルデ』など)など著名な詩人の詩もあれば、流行歌や童謡をブレリアやルンバなどのリズムに乗せたもの、CD録音のためや舞踊作品の筋に沿って作られた新しい歌詞、そして即興で歌うものまで、本当に様々です。

### 歌詞とインテンション

フラメンコの歌は詞だけでなく、歌い手のインテンション、すなわち意図／方向性、どんな感情を表現したいのか、どんな気持ちを歌いたいのか、が時に言葉よりも重要です。歌を踊るといのは歌詞をそのまま踊るわけでは

なく、歌詞も含む、歌のインテンションを踊るということです。詞がわからない＝フラメンコがわからない、ではありません。気持ちを、エネルギーを受け取ることが大切です。

でも詞がわかればフラメンコはもっともっと面白くなります。何を歌っているのか、知るためにはスペイン語が必須です。また歌詞の細かい内容を正しく理解するためには、アンダルシアやヒターノの言葉や習慣なども知る必要があるでしょう。反対に言えばフラメンコの詞を学ぶことでフラメンコの芯により近づけるということもあるのではないのでしょうか。まずは歌詞付きのCDなどで最初の一步、はじめてみませんか？



93年のしかぜ。日本フラメンコ協会のヘラルド・ヌニェス招聘のお手伝いで日本へ。歌い手タレゴン、ヘラルド、鈴木敬子さんと。

志風恭子／1987年よりスペイン在住。セビージャ大学フラメンコ学博士課程前期終了。パセオ通信員、通訳コーディネーターとして活躍。パコ・デルシアをはじめ、多くのフラメンコ公演に携わる。

Solamente con mirarte  
Conocerás que te quiero  
También conocerás  
Que quiero hablarte y no pueo

おまえを見つめるだけで  
愛しているのがわかるだろう  
そしてまた  
話しかけたのにできないことも

Donde andrà mi muchacho  
Que hace tres días que no veo  
si estará bebiendo vino  
O andrà por ahí borracho

あの子はどこにいるんだろう  
3日も会っていやしない  
葡萄酒飲んでいるのか  
そこらで酔っ払ってるのか

Del convento las campanas  
si pregunta por quien doblan  
por mi muertas esperanzas

修道院の鐘  
誰がためかと聞かれたら  
私の亡くした希望ゆえ